

島おこし協力隊第1期生卒業！3年間を振り返って

弓削・生名地区担当 藤巻光加

3年前、この上島町へ初めて降り立った日のことを思い出しています。関東の海とは違う穏やかで碧いせと
うちの海。広い空のむこうに見えた入道雲。蝉の声。船を待つ人たちのおしゃべり。日陰で昼寝する猫。そこ
に流れるゆったりとした時間。都会暮らしで強張っていた身体や心の緊張が、すーっとほぐれていきました。

あれから3年。本当に本当に、たくさんの方々のご支援・ご協力により、様々な活動をさせて頂けたこと、
この場をお借りしてお礼申し上げます。「島おこし協力隊」として期待された役目を果たせたのかはわかりま
せんが、活動を通じて人の縁が生まれ、その縁がまた新たな活動を招いてくれるというあつという間の3年間
でした。

島だから…子どもがいない、お店がない、後継者がいない、楽しみがない、仕事がない。「ないないメガネ」
で地域を見ると、ネガティブなことばかりが目につきます。けれども、大切なのは、その「ない」という「余
白」を自分たちが活かせるかどうか。「余白」は、新しいものが生まれる「余地」つまりチャンスでもあります。
そして、島には豊かな自然とその自然の恵みを生活に取り入れる知恵があります。海から山から野から。ない
ものは買うのではなく創る。季節にあった仕事をし、季節のものを採って食べ、季節の遊びをする。その先人
の知恵と豊かな環境こそが、この町の最も大切な地域資源だと、今改めて思います。

地域活性化で大切なのは、他所から新しいことを持ち込むのではなく、内にある宝に気づくこと。ここで暮
らす私たち、特に子どもたちや若い世代が、島で暮らすことに誇りを持ち、仕事を創り、文化を伝承し、島を
「あるあるメガネ」で見続けられるようにしたいという想いで活動した3年間でした。

〈3年間の主な活動〉

- ・インタビュー誌『Small Story』1～8号発行
- ・「たていしブックスポット」の開設
- ・グルメマップ『めしちず』の制作
- ・第1～3回「かわうそキャンプ in 高井神島」の実施
- ・「しまの食堂 in 東京」の実施
- ・「おたがいさま掲示板」を交流館に設置
(※任期終了に伴い、撤去します)
- ・弓削中学芸部との活動
- ・「岡野有希作品展」、「岡野有希+石橋尚大ふたり展」の開催
- ・第1～4回「かみじましてごと市」の実施
- ・生名小読み聞かせ活動参加
- ・各種研修への参加、事例発表
- ・メディア対応、ブログ運営 など



かみじましてごと市



かわうそキャンプ



協力隊全国女子会での事例発表



ふたり展

どの活動にも、素晴らしい方々との出会いがありました。そして、すべての活動を企画政策課の皆さんが支え
てくださいました。

10月からも弓削で、夫とふたりで農家として暮らしていきます。無農薬・無化学肥料で、草や虫を敵としな
い農業をしていきたいと思います。野菜たっぷりのごはんや、島の柑橘をつかったお菓子を食べて頂ける小
さな食堂をオープンすることが、次の私の目標です！オープンしましたら、ぜひご家族みなさんで遊びにいら
してください。

最後に、突然やってきたよそ者を温かく迎えてくださり、たくさんの知恵と経験を授けてくださった地域の
皆さまに改めて感謝申し上げます。これからはひとりの住民として、協力隊として始めたことも続けながら、
島の宝さがしをしていきたいと思っておりますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

■島おこし協力隊について（企画政策課）

島おこし協力隊（地域おこし協力隊）は、人口減少や高齢化等の進行が著しい地方において、地域外の人材
を積極的に誘致し、都市住民のニーズに応えながら、地域力の維持・強化を図っていくことを目的とする総務
省が管轄する取組です。

地方自治体が都市住民を受入れ、一定期間以上、農林漁業の応援、住民の生活支援などの各種の地域協力活
動に従事していただきながら、当該地域への定住・定着を図っていくものです。

上島町では、2011年10月より2名の島おこし協力隊を採用しました。岩城地区配属の大井さんは2013年9月
末に卒業し、新規就農を果たしました。今後、新たな協力隊の配属も予定されております。協力隊の活動の様
子は、活動ブログでもご報告しておりますのでぜひご覧ください。

(<http://setouchi-k.town.kamijima.ehime.jp/blog/sima>)